

# 緑市民病院通信

(H25. 6.1)

〒458-0037 名古屋市緑区潮見が丘一丁目 77 番地  
電話代表 052-892-1331  
地域医療連携室 052-892-1334  
FAX 052-892-1315  
<http://www.med-junseikai.or.jp/midori/>

名古屋市立緑市民病院登録医各位

医療法人純正会 名古屋市立緑市民病院  
院長 神谷 保廣



## 「五穀豊穰」

紫陽花の似合う季節になりました。花言葉は、「移り気」「高慢」「辛抱強い愛情」などです。花びらに見えるのは「がく」で、本当の花は中心の丸い粒のような部分です。土壌により表れる花色が異なり、酸味が強いと青みがかかり、アルカリ性が強いと赤みがかるといわれています。梅雨時のうっとうしさの中、可憐に咲く紫陽花を、土はどんな味？こんな風に観察してもいいのではないのでしょうか。



東南アジアを旅すると1日1回以上は晴天の中、突然大雨が降ります。地元の人にはスコールと呼んでじっと降り止むのを待ちます。すると雨はピタッと止み、また太陽がさんさんと照りだします。そうして植物はすくすくと成長します。日本の梅雨は何日も降り続けます。気も心も湿ってしまいます。時にはゲリラ豪雨に見舞われることもあります。気象が変わったのか、日本人の生活習慣が変わったのでしょうか。

知らない間にどこからか、田畑には水が注がれて満たされます。田植えが行われます。しっかり根を張ってたくさんの水分と地中の栄養素をたっぷりとり、日照りにも台風の雨風にも耐えられる体力を備えます。そして、しっかりと太陽のもとで育った稲は、秋にはこうべを下げ実り、それを収穫し「五穀豊穰」のお祝いします。

こうした当たり前のことが大切なのでしょう。天災は人々の人生を変えます。今年は、伊勢神宮や出雲大社で式年遷宮の儀式が行われます。社殿を新しく造り替え、神様をお迎えします。天地が安寧に動いてゆくことがまことの安心ということではないのでしょうか。地震も心配ですが、「五穀豊穰」を祈願して、梅雨時を過ごすことにします。



昭和四年度御遷宮絵巻「遷御」<高取稚成画>

伊勢神宮Hpより

## 「もの忘れ外来」開設のご案内

当院では、6月から脳神経内科の医師による「もの忘れ外来」を開設いたします。6月から認知症やもの忘れの悩みを抱えた方を対象とした専門の窓口です。受診には、必ず予約が必要となります。また診療を行う上で、ご家族の協力が必要となりますので、受診時の付添をお願いしております。

診 察 日	毎週火曜日
診療時間	14時00分～16時00分
診察場所	内科外来診察室
担 当 医	脳神経内科部長 入谷 克巳
予約受付	地域医療連携室にて受付
電 話	052-892-1334（直通）

当院の「もの忘れ外来」では、心理テスト、頭部MRI/CT検査、血液検査などを行います。なお、治療が安定しましたら診断の詳細ならびに検査結果について、紹介元の先生方にご報告させていただきます。今後とも病診連携に役立つよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### <第65回病診連携システム合同研究会のご案内>

【日時】6月11日（火） 20:30～22:00

【場所】名古屋市立緑市民病院 北館4F講義室

【講演内容】

- ・「緑市民病院のもの忘れ外来について」 脳神経内科部長 入谷 克巳
- ・「腹腔鏡下ソケイヘルニア術について」 消化器外科部長 角田 直樹
- ・「COPDの現状について」 呼吸器内科 村瀬 博紀

当日でもご参加頂けますので是非お越しください。

### <診療担当医のお知らせ>

・心臓血管外科の石田医師の診療曜日と時間が変更になります。

水曜日 午前診



第1・3の火曜日 夕診（受付15:45～18:45）

地域医療連携室にて予約を受付けております。

### お知らせ

6月より当面の間、整形外科の診察受付時間を、午前11時までとさせていただきます。ご迷惑をおかけ致しますがよろしくお願い致します。

### <6月の資料>

- 医師専門分野一覧
- 外来診療担当医表
- 医師当直当番表

